福岡県公立学校生成AI利活用事例コンテスト実施要項

1　目的

県内の公立学校に所属する教職員が校務や学習指導において実践している生成 AI 利活用の好事例を収集し、共有・発信することで、県全体の教育の質の向上及び校務の効率化や業務負担軽減を図るとともに、学校現場における生成AIの更なる利活用を推進する。

2　主催

福岡県教育委員会

3　主管

福岡県教育庁教育総務部教育イノベーション推進課 及び 学校教育ICT活用推進班

4　応募資格

福岡県内の公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）に勤務する教職員

※　個人での応募のほか、学年単位、教科や分掌単位、学校全体での取組などグループ単位の応募も可。

5　募集内容

校務及び授業等においてGemini、Gemini Notebook、Copilotを効果的に活用した実践事例

校務	校務における教職員の業務効率化、負担軽減につながる実践 校務文書の作成補助、行事企画案の作成、データの整理・分析、保護者向け配付文書の推敲、採点業務・評価補助、部活動や生徒会活動における利活用など
授業等	学習・授業において、教職員の業務効率化、負担軽減につながる実践 児童生徒の学びの充実につながる実践 児童生徒の個別最適な学びや協働的な学びの支援、探究学習の支援、授業準備、教材作成、ワークシート・テスト問題の作成、外国語学習、作文・小論文指導、面接指導、志望理由書添削、教員が生成AIで自作したアプリによる学習など

6　応募方法

（1）提出先

下記アドレス宛てにメールで提出してください。

- メールアドレス：103kanri01@fku.ed.jp
- 件名：【学校名_氏名】コンテスト応募（例：【A町立B小学校_○○□□】コンテスト応募）

（2）提出物

応募の際は、以下のファイルを電子メールに添付して提出してください。

提出物	内容・書式	備考
①応募用紙	【必須】実践概要を記載したもの。	様式１を使用し、１枚にまとめてください。
②別紙データ	【任意】様式任意（Ａ４サイズ）	①に入り切らないプロンプトや詳細な設定内容等は、別紙を作成し、提出してください。
③成果物・アプリ等	【任意】作成したアプリ等	生成AIを活用して作成したアプリ、補助資料等がある場合は添付してください。

- 添付ファイルの名称は、先頭に【所属校_氏名】を入れてください。
  （例：【A町立B小学校_○○□□】様式１、【A町立B小学校_○○□□】別紙）
- 複数のファイルを添付する場合は、全てのファイルの合計容量が10MB以内となるよう調整をお願いします。

（3）応募用紙詳細

応募用紙（様式１）に記載する内容は下表のとおりです。

項目	内容・補足
学校名	実践した学校名（A町立B小学校のように「～立」から入力）
職・氏名	グループ単位の場合は代表者の職・氏名を記載。
実践タイトル	活用の内容が具体的に伝わるタイトル
使用した生成AIツール	Gemini、Gemini Notebook、Copilotのどの AIを使用した実践か。
対象者・規模	誰を対象にどれくらいの人数で実施した実践か。 記入例：中学校１年生から３年生までの全員計１３０名、 第２学年担当教職員８名　など
課題やニーズ、背景・理由	どのような課題やニーズがあって生成AIを活用したか。実践の背景や理由。
具体的な実践内容	指導・業務への組み込み方
実践の成果や工夫	業務時間の削減効果、児童生徒の反応や学習効果、工夫した点
その他（任意）	上記項目以外に特筆する内容があれば入力。 例：児童生徒の個人情報保護や著作権等で注意・工夫した点
写真等	実践の様子が分かる写真、アプリ使用中の画面のスクリーンショット等

（4）応募期間

令和８年１０月２６日（月）～令和８年１２月１８日（金）

（5）実施要項、チラシ、応募用紙（様式１）は下記URL又は２次元コードからダウンロード可能です。

URL：https://www.edu.pref.fukuoka.jp/info/news/r8_aicontest/

7　スケジュール

令和８年１０月２６日（月）　募集開始（各学校へ周知）
令和８年１２月１８日（金）　応募締め切り
令和９年　１月２９日（金）　最終審査
令和９年　２月１２日（金）　結果発表

8　審査

（1）審査方法

審査委員会を設置し、提出された実践内容及び成果等を総合的に審査します。

（2）審査委員長

中村学園大学教育学部児童幼児教育学科　教授／博士（情報科学）　山本　朋弘　氏

（3）審査の観点

- 実践によって業務効率化・負担軽減、学びの充実等に与えた効果のインパクト
- 生成AIの特性を踏まえたプロンプトやプロセスの工夫
- 従来の方法にとらわれない、新しい発想や独創的な活用アプローチ
- 専門家でなくても実践できる手軽さ、他の教職員や他校でも容易に再現・横展開できる汎用性

9　表彰

賞	組数
グランプリ	校務、授業等の区分を問わず最も高い評価を得た事例１組
準グランプリ	グランプリに次ぐ高い評価を得た事例（校務、授業等各１組）
いのベエ賞	従来の方法にとらわれない、新しい発想や独創的な活用アプローチが特に光った事例１組
もちベエ賞	専門家でなくても「真似できそう」、「やってみたい」という意欲を引き出す、手軽で汎用性に優れた事例１組
入選	その他、優秀な実践事例（組数の制限は定めない。）

- 受賞者には、県立高校生が制作・開発・生産した作品や生産物を副賞として進呈します（予定）。

１０　その他

（１）応募用紙等の記載に応募者以外の個人情報（児童生徒の氏名、顔写真、特定の個人が識別できる情報等）や機密情報は含めないでください（必要な場合は架空のデータを入力）。

（２）取り扱う情報は、各学校設置者の生成AI利用規定等、セキュリティポリシーに準じたものに限ります。

（３）応募内容は、第三者の著作権その他の権利を侵害しないものに限ります。

（４）５に記載した生成AI（Gemini、Gemini Notebook、Copilot）以外のツールを使った事例は応募対象外とします。

（５）提出の際は、所属長に確認の上、記載事項に漏れがないようにしてください。

（６）受賞した事例及びその他参考となる好事例は、「福岡県公立学校生成AI活用事例集（仮称）」としてまとめ、県内の公立学校に周知・共有させていただきます。なお、事例集への掲載にあたり、応募内容に加筆・修正や構成変更をする場合があります。